



令和7年3月1日現在
放課後等テイサービス
スマイルキャンティ

◇保護者向け アンケート結果

1. 対象者 15名
2. 調査結果 15名

◇事業者向けアンケート結果

1. 対象者 職員11名 送迎1名
2. 調査結果 12名



令和6年度 スマイルキャンティ 総評

保護者におかれましては、お忙しい中アンケートにご協力いただきありがとうございました。
今年度は、保護者様 参加の引き渡し訓練を実施させていただきました。多くの保護者様にご協力していただきありがとうございました。

事業所が移転して1年が経ちました。広々とした活動スペースで様々なプログラム活動を実施することができました。アンケート結果では、皆様に満足していただけており、今後の励みになります。今後も、子どもたちの笑顔を大切に支援していきたいと思ひます。

令和7年度 スマイルキャンティ 目標

来年度も子どもたちの笑顔を第一に様々な事にチャレンジしていきたいと思ひます。また、より良い支援ができるように職員一同、力を合わせていきたいと思ひます。保護者様とお話をさせていただきながら子どもたちの成長を見守ってきたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひ致します。



事業所における自己評価結果 (公表)

公表令和 7年 3月 31 日

事業所名

スマイルキャンディー

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善 内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	6				
	②	職員の配置数は適切である	6				
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	6				
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画 している	6				
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	6				
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	6				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	4	2			来年度は解かりやすく第三者から の外部評価を行っていきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	6				
適切 な支 援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	6				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	6				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	6				
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	6				
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	6				
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	6				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	5	1		職員全員に伝わり やすいように 伝言板やツール を使って、情報 を共有してい る。	細かく情報が伝わるようにして いく様にする。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	2	4		支援開始前に打 ち合わせや支援 の振り返り等 行っている。	打ち合わせに出勤の都合上、出席 できない職員にも、情報共有できる 様にしていく。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	6				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善 内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	6				
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	6				
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	6				
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っている	6				
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	4			該当児がいないので今後受け 入れる場合は調整をしていく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との 間で情報共有と相互理解に努めている	4	2		相談事業所か らの情報共有 を受けていま す。	職員全員で相互理解できるよ うに連絡をしていく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している	6				
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	5	1			ご利用者様で困りごとがあった場 合に相談を促したりしているので今 後も連携していけるようにしていく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会がある	6				
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に 参加している	6				
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている	6				
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	6					
保護者への説	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	6				
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6				
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 している	6				
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に 周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応している	6				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善 内容又は改善目標
明 責 任 等	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	6				
	③⑤	個人情報に十分注意している	6				
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている	6				
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域 に開かれた事業運営を図っている	5	1		地域の児童館を 使ったり、近隣 の散歩時には挨拶 をするように 支援している。	クリスマス会等ボランティアの受入 を行っている。ので、無理をせずに 続けていきたい。
非 常 時 等 の 対 応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に 周知している	6				
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出その他必要な訓練を行っている	6				
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	6				
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか について、組織的に決定し、子どもや保護者に 事前に十分に説明し了解を得た上で、放課 後等デイサービス計画に記載している	6				
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている	1	5			現在、該当児がいないため 今後、受け入れた場合は対応 していくようにする。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有している	6				

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表:令和 7年 3月 31日

事業者名 スマイルキャンディー

保護者等数(児童数) 15件 回収数15件 回数率100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	13	1			基準上の必要値以上を確保している
	②	職員の配置数や専門性は適切である	13	1			配置数や専門性は基準上の必要人数以上を確保している
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている	10	4		室内をあまり見たことがないのでわかりません。	リフォーム時に、床の段差等をなくしたりしている。昨年、保護者会や引き取り訓練を新しい事業所で行っているので今年も行っていきます。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている	14				
	⑤	活動プログラム が固定化しないよう工夫されている	12	2			スマイル通信等に記載、引き続き、周知できるように継続していきます。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	9	5		入ってすぐでわからない。	児童館や公園等、引き続き交流できるようにしていきます。
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14				
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができています	14				
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	14				
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	10	4		年に2回から3回あっても良いかと思えます。	昨年も保護者会を開催している。保護者様同士の交流が深められるように引き続き行っていきます。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	12	2			対応の体制や整備は整えられているので、迅速かつ適切に対応できるようにしていきたいと思えます。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	14				
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	14				
非常 時 等 の 対 応	⑭	個人情報に十分注意している	14				
	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明 されている	14				
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	14				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしている	13	1		土曜日や長期休みの外出とても喜んでいきます。プログラムもたくさんあり楽しんでいます。	楽しんでいただけて、とても嬉しです。子供たちが全員楽しみにできるように今後も、様々なことに職員一同取り組んでいきたいと思ひます。
	⑱	事業所の支援に満足している	14			いつもありがとうございます。	こちらこそ感謝の言葉をいただけて、とても嬉しいです。引き続き、満足して頂けるよう職員一同、取り組んでいきたいと思ひます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等
 デイサービス自己評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。